

子ども主体の学びを實踐

文部科学大臣表彰



令和4年度文部科学大臣優秀教職員表彰報告は3月16日、市役所で行われ、大田洋平日立木小学校教諭と青田伸一同小学校校長が訪れました。大田教諭は、子ども主体の授業構築に力を注ぎ、子どもの学力向上に取り組んだことなどが評価され、同賞を受賞しました。報告を受けた立谷市長は「子どもたちの学力向上のため、これからもがんばってほしい」と述べました。

光触媒スプレーなどを寄贈

株式会社ダイナム

株式会社ダイナムによる感染対策のための光触媒スプレーなどの寄贈は3月23日、向陽中学校で行われました。中西祥彦株式会社ダイナム相馬店ストアマネジャーは「相馬の子どもたちのために使ってほしい」と述べ、市教育委員会に光触媒スプレーなどを手渡しました。寄贈された同スプレーなどは、市内の幼、小・中学校で使用される予定です。



走力向上を目指す 長距離ランニング教室



長距離ランニング教室は3月18日、相馬子どもドームで開催され、市内外の小学生ら26人が参加しました。当日は、市の市町村駅伝外部コーチの林尚範さんを講師に迎え、ランニングのタイムトライアルや2組に分かれてリレーなどが行われました。同教室終了後、林さんは「長距離は努力次第で誰でも速くなる可能性があるのだから、がんばってください」と述べ、参加した児童らにエールを送りました。

全国大会出場を報告 中村連合

スポーツ大会出場報告は3月27日、市役所で行われ、全国大会に出場した中村連合の選手7人が立谷市長に報告しました。

中村連合は相馬市と南相馬市の合同チームで、令和4年10月に開催された文部科学大臣杯第14回全日本少年春季軟式野球大会の県予選会で優勝し、3月21日から静岡県で開催された全国大会に出場。報告を受けた立谷市長は選手たちを労いました。



イチゴを使ったお菓子づくりに挑戦

中央公民館子ども教室

中央公民館子ども教室「相馬のイチゴを使ったお菓子づくり」は3月25日、同公民館で開催され、市内の小学生ら16人が参加しました。当日は、スポンジ生地を焼き、ホイップクリームを作ったあと、カップにイチゴと共に飾りつけるカップシュートケーキを作りました。参加した子どもたちは、イチゴやスポンジの切り方などに試行錯誤しながらも、お菓子づくりを楽しんでいました。



子どもたちの晴れ舞台 第8回エル・システマ子ども音楽祭



木エリさんの振り付けを交えて合唱しました。

3月26日は、相馬子どもオーケストラが木許裕介さんの指揮による「弦楽セレナーデハ長調OP・48」(P・チャイコフスキー作曲)、「パイレーツ・オブ・カリビアンメドレー」(K・バデルト作曲)、「交響曲第一番ハ短調OP・68」(J・ブラームス作曲)などを演奏しました。

第8回エル・システマ子ども音楽祭 in 相馬は、3月25日(26日、市民会館で開かれ)子どもたちが練習してきた演奏や歌声を披露しました。

3月25日は、中村二中、向陽中、中村一中の吹奏楽部が「式典のための行進曲「栄光をたたえて」」(内藤淳一作曲)や「人生のメリーゴーランド」(久石譲作曲)、「ロマネスク」(J・スウェアリンゲン作曲)などをそれぞれ演奏したほか、相馬子どもコーラスが古橋富士雄さんの指揮のもと「小さな目」や「サウンド・オブ・ミュージック」などをラッキィ池田さん、彩



音楽祭のフィナーレには、相馬男声合唱団と相馬子どもコーラスのメンバーも加わり、「相馬盆唄」が披露され、訪れた市民らが大きな拍手を送り、音楽祭は幕を閉じました。

復旧に大きく尽力 派遣職員離任式



3月末で離任する派遣職員の離任式は3月24日、市役所で開かれました。

離任するのは、令和4年福島県沖地震で被害を受けた本市の復旧業務を支援するために派遣された熊坂秀人さん(福島県)らの4人。

離任する職員を代表し熊坂さんが、「復旧業務などを通して市民の皆さんから喜びの声をいただき、少しでも力になれたことを嬉しく思います」とあいさつし、立谷市長は感謝の言葉を述べ、派遣職員一人一人に御礼の気持ちを込めた色紙を渡しました。

看護学生と健康を考える 大野公民館

大野公民館豊齢者教室「健康寿命を延ばそう」は3月20日、同公民館で開催され、地域住民と相馬看護専門学校の生徒合わせて約40人が参加しました。

当日は、看護学生が講師となつて、老年期に起こりやすい体の変化や運動の大切さなどを伝えたほか、連想ゲームや身振り手振りで内容を伝えるジェスチャーゲームなどが行われました。

参加した人たちは、看護学生と交流しながら健康の大切

さを学び、ゲームで楽しく体を動かしていました。



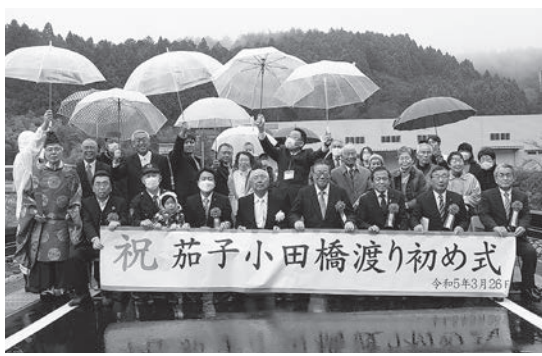
頑丈な鋼橋が完成

茄子小田橋渡り初め式

茄子小田橋渡り初め式は3月26日、山上字須萱地内の同橋で行われ、関係者約60人が出席しました。

同橋は、令和元年東日本台風の被害を受けて流出しましたが、大型車両も通行可能な鋼橋として3月15日に完成しました。

立谷市長ら8人によるテープカットの後に渡り初めが行われ、多くの市民らが新しい橋を一步一歩踏みしめながら渡っていました。



長年の功績をたたえる 消防功労者消防庁長官表彰受賞報告



消防功労者消防庁長官表彰
表彰旗受賞報告は3月22日、
市役所で行われ、鎌田重昭市
消防団団長ら3人が訪れまし
た。

同賞は、防災思想の普及、
消防設備の整備、そのほかの
災害の防御に関する対策の実
施について、優秀でそのほか
の模範となる消防機関に授与
されるもので、相馬市消防団
が受賞。
報告を受けた立谷市長は、
受賞をたたえました。

海の恵みを蓄えた アサリ漁

今シーズン初のアサリ漁は
3月23日、相馬双葉漁業協同
組合松川浦支所で行われまし
た。

当日は、同支所の船着き場
から81隻が出港し、約1、6
80キログラムのアサリを水
揚げ。

山下博行相馬双葉漁業協同
組合理事松川浦地区代表代理
は、「今年も実入りと味が良
いため、ぜひ多くの方に味
わってほしい」と今後への期
待を述べました。



馬陵公園をほのか に照らすぼんぼり 点灯式



「相馬桜まつり」のぼんぼ
り点灯式は4月3日、馬陵公
園で行われ、関係者約20人が
出席しました。

主催者の草野清貴相馬商工
会議所会頭が「満開になった
美しい桜を楽しんでいただき
たい」とあいさつし、立谷市
長が祝辞を述べました。

草野会頭ら8人が出席者を
代表し、ぼんぼりを点灯させ
るスイッチを押すと、馬陵公
園に設置されたぼんぼり176本
が一斉に点灯し、桜を優しく
照らしました。

城下町の歴史を生かした観光振興を なかむらじょうか やしきわりりやくず

中村城下屋敷割略図標示板除幕式

中村城下屋敷割略図標示板
の除幕式が4月3日、中村字
田町地内で行われ関係者ら約
40人が参加しました。

同標示板は、市の慶応元年
(1865年)時点の屋敷割
略図で、建立者代表である草
野清貴相馬商工会議所会頭の
あいさつの後、草野会頭ら6
人で除幕が行われました。

参加者らは、慶応元年の馬
陵公園周辺の地図を見て、当
時の街並みに思いを馳せてい
ました。



霜から農作物を守る 防霜対策本部

市は4月3日、立谷市長を
本部長とする市防霜対策本部
を設置し、立谷市長と伊東充
幸産業部長が市役所玄関に看
板を掲げました。

同対策本部は、降霜による
農作物の被害を最小限に食い
止めるため、霜注意報が発令
された際に、農家に注意を喚
起します。

この時期、市内ではナシな
どの果樹で特に注意が必要で、
本部は5月末まで開設してい
ます。

